



化学療法を受けられる患者様へ ～口腔内を清潔に保ちましょう～

化学療法は正常な細胞もダメージを受け、様々な副作用が見られることがあります。

化学療法による副作用

副作用	原因・症状
唾液分泌量の低下による口腔内乾燥	唾液腺がダメージを受け、唾液が出にくくなります。 乾燥により口腔内がざらついたり、痛みがでることがあります。
味覚障害	味覚細胞がダメージを受け、味が感じにくくなったり、 苦味を感じたりします。
むし歯、歯周病の悪化	唾液量の低下、免疫力低下によりむし歯の悪化や歯肉の腫れ、 歯周病の悪化が起こります。
口腔内の感染症	免疫力の低下により、カンジダ菌やヘルペスウイルスなどの活動 が活発になり、口腔内に発赤や痛みなどの症状が起こります。
粘膜炎	口腔粘膜がダメージを受け、潰瘍や痛みが起こります。

化学療法前から正しいお口のケアを行うことにより、
このような副作用を予防し、症状悪化を防ぐことができます。

化学療法治療前に

むし歯や歯周病の悪化、粘膜炎の重症化を予防するためにも、治療を始める前に
口腔内の状態をチェックし、必要な処置(むし歯治療、抜歯など)を受けましょう。

また、化学療法治療中は口腔内を清潔にし、治療や抜歯の必要がないように良好な状態に保ちましょう。

口腔粘膜炎になってしまったら？

- ◆刺激の強いもの(酸味が強いもの、熱いもの、香辛料、炭酸飲料、アルコール)
はさけましょう。
- ◆水分が多くやわらかい食事にしましょう。硬いものパサパサしたものは飲み込みにくく、お口の粘膜を傷つけてしまう事があります。
- ◆食材はミキサーにかけたり、とろみをつけたりつぶしたりして食べやすい形にしましょう。

口腔乾燥をやわらげるには？

- ◆適度に水を飲み、砂糖なしのガム噛んで唾液腺を刺激しましょう。
- ◆保湿力の高い歯磨き粉、洗口液、口腔用保湿ジェルなどを使用するようにしましょう。